

支部 *Newsletter*

【北海道支部】

◎第86回日本英文学会年次大会：ご協力の御礼

第86回大会日本英文学会年次大会が、去る2014年5月24日(土)・25日(日)に、北海道大学札幌キャンパスで開催されました。大会運営がスムーズに行われ、懇親会と2日目の特別シンポジウムも大変盛況であったと本部から賞賛を頂きました。会員の皆さまにおかれましては、本大会に向けて多大なるご協力とご参加を頂いたことに、心より感謝申し上げます。

◎第59回大会予告

日本英文学会北海道支部第59回大会が、2014年10月25日(土)に北海道武蔵女子短期大学(札幌市北区北22条西13丁目)において開催されます。今年度は一日のみの開催です。詳細は本冊子所収のプログラムをご覧ください。会員の皆様におかれましては、奮ってご参加頂ければと存じます。また、懇親会への参加お申込みもお待ちしております。

◎電子メールアドレス登録について

北海道支部事務局では、会員の方々に電子メールアドレス登録のご協力をお願いしております。支部からの連絡は今後、原則として電子メールを通して行う予定です。まだ登録されていない会員、あるいはアドレスに変更が生じた会員におかれましては、速やかに事務局(hokkaido@elsj.org)にご連絡のほどよろしく申し上げます。

◎事務局について

ご質問等ございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

〒069-8555 江別市文京台11番地

札幌学院大学人文学部英語英米文学科
真田敬介研究室内

日本英文学会北海道支部 事務局

[電話] 011-386-8111(代表)

[メールアドレス] hokkaido@elsj.org

[ホームページ] <http://www.elsj.org/hokkaido/index.html>

以上(文責 真田敬介)

【東北支部】

◎第69回支部大会開催予告

第69回東北支部大会が、2014年11月29日(土)・30日(日)の両日に、弘前大学との共催で開催されます。詳細については、この統合プログラムをご覧ください。なお、懇親会については、10月上旬を目処に東北支部会員の皆さまにご案内を別送する予定です。

◎『東北英文学研究』第5号について

今年は2本の投稿がありました。7月5日の編集委員会にて投稿論文の審査を終え、審査結果が編集委員会の審査所見とともに投稿者に送られました。修正の上掲載可となった投稿論文の修正を8月31日まで受けつけ、その再審査が9月上旬に行われ、最終的に第5号に掲載される論文が決定されます。

◎『東北英文学研究』第6号原稿募集

『東北英文学研究』第6号の原稿を募集しています。締切は2015年4月30日です。支部ホームページ(<http://www.elsj.org/tohoku/>)にある投稿規程をご覧ください。事務局(tohoku@elsj.org)宛に奮ってご応募ください。支部ホームページより、論文のテンプレートとカヴァーレターをダウンロードしてお使い下さい。

【関東支部】

◎理事会報告

2014年6月21日(土)に成城大学にて2014年度第1回理事会が開催され、次の事項が報告、審議されました。

【議事録承認】

【報告事項】

- 1) 支部長報告(本部理事会報告、2015年度審議依頼事項等を含む)
- 2) 第87回日本英文学会全国大会の進捗状況報告(齋藤昇先生より)について
- 3) 委員会報告(大会準備委員会/編集委員会)

【審議事項】

1. 2013年度事業報告

2. 2013年度決算
3. 支部理事選挙の選挙管理委員について
4. 支部出版企画規定(案)について

◎日本英文学会関東支部第9回大会(2014年度夏季大会)について

日本英文学会関東支部第9回大会(2014年度夏季大会)が、2014年6月21日(土)、成城大学において行われました。プログラムは以下の通りです。

開場・受付開始(12:00より 7号館1階にて)

12:15-13:15

【研究発表】

第一会場(712教室)

(発表者) 南山大学短期大学部教授 浅野 享三
(司会) 明星大学准教授 高橋 和子

コミュニケーション能力を養う文学教材の利用
——音読劇(Readers Theater)で文学作品を読み進める

第二会場(713教室)

(発表者) 東京女子大学非常勤講師 中妻 結
(司会) 青山学院大学准教授 田中 裕介

Douglas Jerroldの散文作品を再考する
——Street literatureとヴィクトリア朝小説の交差

第三会場(714教室)

(発表者) 青山学院大学大学院 四戸 慶介
(司会) 上智大学教授 新井 潤美

*The Old Curiosity Shop*における4つのネットワーク
——移動興行者、金融業者、街の噂、血縁集団

12:15-13:30 711教室

【ワークショップ】

“World Café”による教育現場での読書体験の共有

(発表者) 群馬大学准教授 草薙 優加
(発表者) 鶴見大学准教授 深谷 素子
(発表者) 成蹊大学准教授 小林 めぐみ

13:40-15:40 721教室

【英米文学部門シンポジウム】

ユートピア／ディストピア再考——歴史、ジェン

ダー、共同体

(司会・講師) 津田塾大学准教授 秦 邦生
(講師) 東京大学准教授 武田 将明
(講師) 実践女子大学教授 稲垣 伸一
(講師) 専修大学専任講師 佐久間 由梨

13:40-15:40 722教室

【英語教育部門シンポジウム】

英語教育における<児童文学>の活用と実践
——メディアの有効活用を中心に

(司会・講師) 関東学院大学教授 奥 聡一郎
(講師) 帝京科学大学准教授 淡路 佳昌
(講師) 東洋学園大学准教授 下山 幸成
(講師) 文京学院大学准教授 フェアバンクス 香織

16:00-18:00 732教室

【メインシンポジウム】

21世紀批評におけるレトリックの可能性
——ポール・ド・マンの歴史的意義

(司会) 和洋女子大学教授 佐久間 みかよ
(講師) 慶應義塾大学准教授 高橋 勇
(講師) 成蹊大学教授 下河辺 美知子
(講師) 慶應義塾大学教授 巽 孝之
(講師) 千葉大学教授 土田 知則

懇親会(18:30-20:30)

会場 成城大学 7号館地下1階食堂

◎『関東英文学研究』第7号投稿の結果

締め切り(5月15日)までに、今年は19本の投稿がありました。7月5日の編集委員会にて投稿論文の審査が行われ、結果は委員会の審査所見とともに投稿者に送付されました。8月31日までに修正のあった投稿論文と懲慥論文の審査が行われ、最終的に第7号に掲載される論文、「研究の未来」のエッセイなどが決定されます。

以上(文責 関東支部事務局長 佐藤光重)

【中部支部】

◎役員人事と事務局移転

2014年4月27日から新役員となり、事務局が名古屋大学に移転しました。

支部長 松本三枝子(愛知県立大学)
副支部長 鈴木 達也(南山大学)
事務局長 滝川 睦(名古屋大学)
事務局長補佐 田中 智之(名古屋大学)
書記 石崎 保明(南山大学短期大学部)

新事務局と住所は下記のとおりです。

〒464-8601 名古屋千種区不老町
名古屋大学文学研究科文芸言語学コース
滝川研究室
TEL: 052-789-2286 FAX: 052-789-2299
E-mail: chubu@elsj.org
<http://www.elsj.org/chubu>

任期は2015年3月末日までです。

◎支部長挨拶

2014度は、年度当初から波乱含みの幕開けでした。4月27日に開催された臨時理事会において支部役員の人事刷新が議決されました。6月22日の臨時総会において、支部会員の皆様には人事刷新に至った経緯を報告しご諒解を得ることができました。これにより2013年度から停滞していた支部運営は現在順調な軌道に戻り、事務局を中心に様々な支部業務に励んでいるところです。

ここでは支部会員の皆様に直接関係する主な変更を4点あげておきます。1. 今年度から支部大会の開催日は1日となります。そのため、特別講演を廃止して、3分野(英語圏文学、アメリカ文学、英語学)のシンポジウムと、研究発表が中心となります。2. 研究発表は、大会準備委員会による査読を経て採択されたものです。3. 支部理事選挙の日程と選挙方法が変わりました。詳細は支部HPでご確認いただけます。4. 『中部英文学』に掲載された論文から、中部優秀論文賞と中部新人優秀論文賞が選考されます。

今回の不祥事を支部として乗り越えていくためには、支部運営の民主化と活性化が欠かせません。できるだけ多くの会員の方々に支部大会にご出席いただき、理事会を始めとする各種委員会、総会

などで支部の管理・運営についてご意見やご協力を賜りたいと思います。同時に学会誌『中部英文学』への投稿や、支部大会での研究発表、シンポジウムへのご登壇など一連の研究活動への積極的なご参加も是非お願い致します。事務局を始め現在の執行部が心がけているのは、かつての支部運営に戻るのではなく、新しい時代に適合した支部運営を模索することです。今年度は支部理事選挙がございますので、この機会を是非有効に使っていただき支部運営の民主化と活性化にご協力を賜りますようお願い申し上げます。(松本三枝子)

◎HPのリニューアル

支部HPがリニューアルしました。URLは上で述べたように、<http://www.elsj.org/chubu>です。重要な情報を随時お伝えしますので、定期的に関覧をお願いいたします。

◎『中部英文学』第34号投稿論文査読結果

5件の投稿がありました。7月13日(日)に編集委員会が開催され、再審査4件、不採用1件と決定されました。8月31日までに修正され再提出された論文の審査が9月初旬から中旬に行われ、掲載論文を決定します。

◎理事選挙について

本年は理事選挙の年となっています。本年6月22日に改定されました理事選挙規程(支部HP「日本英文学会中部支部 理事選挙規程」参照)に従って、9月から10月18日の支部大会にかけて理事選挙を行いますので、奮ってご投票をお願いいたします。

◎第66回支部大会

10月18日(土)に中京大学名古屋キャンパスで第66回支部大会を開催します。今回から1日開催となりましたので、催し物の時間等にご注意ください。

詳細はプログラムをご覧ください。大勢の皆さまのご来場をお待ちしております。

◎会員情報更新

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動があった場合は、速やかに本部事務局と支部事務局にご連絡ください。

◎メールアドレス登録のお願い

ご連絡をスムーズかつスピーディーに行うために、皆様にはメールアドレスの登録をお願いしています。未登録の方は、件名をメールアドレスとして、ご氏名、所属先、職位を事務局までメールでお知らせください。送っていただいた情報は、中部支部の業務のみに使用いたします。

以上(文責 滝川 陸)

【関西支部】

◎機関誌『関西英文学研究』第8号(『英文学研究 支部統合号』第7号)について

来年1月の発行に向けて、現在編集作業中です。本年度の編集委員は、【イギリス文学部門】芦津かおり(神戸大学)、小杉世(大阪大学)、西川健誠(神戸市外国語大学)、野口祐子(京都府立大学)、野末紀之(大阪市立大学)、廣野由美子(京都大学)、吉川朗子(神戸市外国語大学)、【アメリカ文学部門】鶴野ひろ子(神戸女学院大学)、片渕悦久(大阪大学)、塚田幸光(関西学院大学)、野間正二(佛教大学)、若島正(京都大学)、【英語学部門】岩田良治(天理大学)、梅原大輔(甲南女子大学)、加藤正治(大阪大学)、高橋勝忠(京都女子大学)の計16名(敬称略)、委員長は廣野由美子、副委員長は鶴野ひろ子の各氏です。

投稿論文には全部で13編の応募があり、掲載論文と奨励賞論文について現在審査中です。特別寄稿論文執筆者は水野真理(京都大学)、山下昇(相愛大学)の各氏、書評「私の一冊」執筆者は玉井暁(武庫川女子大学)、森岡裕一(大阪大学)、大森文子(大阪大学)の各氏を予定しています。なお、特別寄稿論文(英語学部門)の執筆を予定していた菅山謙正氏は、ご都合により辞退されました。

◎第9回支部大会について

4月と7月に大会準備委員会を開催し、目下準備作業中です。本年度の準備委員は、【イギリス文学部門】加藤雅之(神戸大学)、金津和美(同志社大学)、木村茂雄(大阪大学)、三浦蒼史加(大谷大学)、【アメリカ文学部門】金澤哲(京都府立大学)、西山けい子(関西学院大学)、【英語学部門】富永英夫(武庫川女子大学)、松本マスマ(大阪教育大学)、【開催校委員】竹村はるみ(立命館大学)の計9名(敬称略)、委員長は木村茂雄、副委員長

は加藤雅之の各氏です。

プログラムについては本誌をご覧ください。

◎支部理事選挙について

今年は支部理事選挙の年です。詳細は近日中にお届けする選挙の案内をご覧ください。9月末と10月中の二度、投票をお願いする予定です。

◎事務局

本年度の事務局は下記にて運営しております。

〒662-8501

兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学文学部英文学研究室

日本英文学会関西支部事務局

電話：0798-54-7247

電子メール：kansai@elsj.org

ホームページ：http://www.elsj.org/kansai/

(文責：横内一雄)

【中国四国支部】

◎広島市北部広域土砂災害につきまして

8月20日未明に発生しました広島市北部大規模土砂災害に関しまして、学会会員の安否をメール等で可能な限り確認してまいりました。8月30日現在、中国支部の会員で直接被災されたというご報告は受けておりませんが、ご親族やご友人、大学が被災されるなど、大きな影響が出ている模様です。災害の影響を被られたみなさまには心からお見舞い申し上げます。また、事務局で確認できていない情報がありましたら、ぜひ事務局の方にお知らせください。宜しくお願い致します。

◎中国四国支部理事選挙について

支部理事選挙第一次投票が5月末日で締め切れ、第一次選挙の開票が6月4日(水)に事務局長立会いのもと、支部理事選挙管理委員会(委員長：地村彰之、委員：西尾美由紀、栗原武士)によって広島大学で行われ、19名(14位が6名のため)が支部理事第一次候補者として選出されました。すぐに候補者に結果を知らせ、12名の候補者から支部理事候補者としての承諾を得ました。

7月下旬に支部理事第二次選挙の投票用紙を送付いたしました。(9月末日投票締め)

10月1日(水)に第一次選挙と同じ要領で開票

が行われ、新支部理事10名が選出されます。

10月25日(土)に選出された新支部理事10名の合議によって、役職、地域性、性別、専攻分野などを配慮しながら、さらに5名の新支部理事が選出されます。

◎中国四国支部第67回大会準備委員会報告

第67回大会準備委員会を2014年6月7日(土)に広島大学で開催し、研究発表等のプログラム、大会運営に関して協議しました。支部大会に向けて目下準備作業中です。

◎学会誌編集委員会委員の交代

任期満了にともない学会誌編集委員の交代がありました。宮崎隆義 → 小野章(広島大学)、赤松佳子 → 中川憲(安田女子大学)、小澤博 → 松浦雄二(鳥根県立大学)、松原史典 → 大野英志(倉敷芸術科学大学)、吉田美津 → 栗原武士(県立広島大学)(以上、敬称略、順不同)。これまで勤めて下さった委員長宮崎氏をはじめ、委員の皆様には、長い間ありがとうございました。

新委員長は中川憲氏、副委員長は松浦雄二氏です。二年間よろしく願いたします。

◎学会誌編集委員会報告

『中国四国英文学研究』第11号(『英文学研究支部統合号』第七巻)の編集委員会を2014年7月5日(土)に安田女子大学で開催し、8編の投稿論文の第一次審査を行い、そのうちの3編を再審査としました。

◎中国四国支部第67回大会の懇親会の参加・不参加について

昨年度までは、往復ハガキにて懇親会の参加・不参加のご連絡をお願いしておりましたが、学会経費削減のため、第67回大会から懇親会参加・不参加のご連絡は中国四国支部のホームページ上でお願いしたいと存じます。ホームページ上での参加・不参加の入力期間は**9月10日より10月10日まで**に願いたします。不参加の場合もご入力ください。

◎事務局

本年度の事務局は下記にて運営しております。

事務局 長：今林 修(広島大学)

事務局長補佐：西尾美由紀(近畿大学)
若松 正晃(福山大学)

〒739-8522

東広島市鏡山一丁目2番3号

広島大学大学院文学研究科 英文研究室内

日本英文学会中国四国支部事務局

TEL/FAX: 082-424-6683

E-mail: elsjcs@hiroshima-u.ac.jp

HP: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/phoenix/chusi-eng/>

以上(文責：新田玲子)

【九州支部】

◎九州支部ホームページについて

日本英文学会九州支部のホームページには、『九州英文学研究』投稿規定、支部大会関連情報、評議会・理事会や編集委員会の議事録その他の重要な情報が掲載されています。積極的に御活用いただければ幸いです。

◎機関誌『九州英文学研究』第30号(『英文学研究支部統合号』第6号)が刊行されました。イギリス文学2編、アメリカ文学2編、計4編の論文が掲載されました。掲載論文はやや少なめでしたが、英語論文2編、日本語論文2編とも、質の高い論考と自負しています。

◎機関誌『九州英文学研究』第31号(『英文学研究支部統合号』第7号)について

1) 来年1月の発行に向けて、大橋 浩編集委員長(英語学、九州大学)、鶴飼信光副編集委員長(イギリス文学、九州大学)、小谷耕二副編集委員長(アメリカ文学、九州大学)を中心に、【イギリス文学部門】太田一昭(九州大学)、小林潤二(鹿児島国際大学)、木原謙二(北九州市立大学)、宮原一成(山口大学)、村里好俊(熊本県立大学)、【アメリカ文学部門】高橋 勤(九州大学)、竹内勝徳(鹿児島大学)、早瀬博範(佐賀大学)、山里勝己(名桜大学)、【英語学部門】登田龍彦(熊本大学)、西岡宣明(九州大学)、向井 毅(福岡女子大学)、山田英二(福岡大学)の各編集委員、及び、今回の外部審査委員として、6名の方に参加していただき、掲載論文と優秀賞論文・奨励賞論文について査読・審査しました。投稿論文は、英文学7編、

米文学4編、英語学1編、及び、昨年度の支部大会の招待発表者による投稿論文4編、計16編でした。昨年度の懸案事項であった支部大会「招待発表者」に対して『九州英文学研究』に投稿を促す件に関しては、今年度は全員の方々に投稿していただきました。

投稿論文採否の結果は、イギリス文学領域2編、アメリカ文学領域2編、英語学領域1編に修正を求め、再審査の上で採用可とする。招待発表者による4編の論文は、多少の修正の上で採用可とすることに決まりました。また、国崎倫氏の『『ハムレット』におけるモグラ表象』が奨励賞に選ばれました。

8月2日に開催された編集委員会では、次の事項についても審議しました。

1) 優秀論文賞、奨励賞論文の選考に先立って、それらの有資格者に関して改めて議論し、以下のように定めた。

◎優秀論文賞は院生も含め、全ての一般投稿論文をその対象とする。

◎奨励賞論文については、日本英文学会新人賞規定に基づき、応募時に満37歳未満、あるいは、修士号取得後5年以内とする。

2) 昨年度に引き続き、中堅・ベテランの研究者の方々に機関誌への投稿を促し、積極的に機関誌に関わっていただけるように編集委員で議論をし、基本的にその方向性を認められた。

3) 鶴飼信光氏(九州大学教授)が次期編集委員長に選出された。任期は、2014年11月1日～2016年10月31日の予定。

4) 『九州英文学研究』の目次には、一般論文と招待発表者による論文を分けて掲載する

◎第67回(2014年度)支部大会について

第67回支部大会は、2014年10月25日(土)、26日(日)の両日、福岡女子大学(福岡市)で開催されます。「招待発表者3名」を加えた24名の個別発表、3部門のシンポジウム、「イギリス文学『可視／不可視の劇場——イギリス演劇と視覚性』」(司会、小林潤司)、「アメリカ文学『アメリカ文学と結婚』」(司会、高野泰志)、「英語学『動詞句の統語構造』」(司会、藤本滋之)、及び、特別講演「富山太佳夫青山学院大学教授 『お化けの行例』」が実施されます。

支部大会の詳細は、支部ホームページでご確認ください。

◎支部事務局

平成25-26年度の事務局は下記にて運営しております。

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号

熊本県立大学文学部英語英米文学科

村里好俊研究室内

TEL (096) 321-6616 FAX (096) 383-3496

E-mail: murasato@pu-kumamoto.ac.jp

HP: <http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp>

以上(文責：村里好俊)